



2016-2017年度

RI会長 ジョン F. ジャーム

RIテーマ ROTARY SERVING HUMANITY

会長●神山 智子 幹事●山内 一晃 SAA●平野 榮子

国際ロータリー第2830地区

八戸北ロータリークラブ

会報

〒031-0081 青森県八戸市柏崎一丁目6-6

八戸プラザホテル内

TEL.0178(44)3121 FAX.0178(44)3128

<http://www.8kitarc.com/>

例会日: 毎週火曜日 12:30開会

4月 母子の健康月間

vol. 36

第 2266 回例会

2017.4.18

司会: 小林弘文副SAA

- ・ RIテーマ
- 点鐘
- ・ ロータリーソング
- ・ クラブソング
- ・ 四つのテスト

ご結婚祝い



石橋十四男会員

桜が咲いているようでございます。

ここで桜の一句でもお披露目しようかと思いましたがなかなか浮かばず、ネットで調べてみました。皆様もお耳にしたことがあると思います。「散る桜 残る桜も 散る桜」良寛の辞世の句といわれております。今どんなに美しく咲いている桜でもいつかは必ず散る、その事を心得て置くこと。というふうに注釈が書いてありました。本当に初心忘るべからずで、私も仕事のこともその他諸々の事も心に刻みながらこの桜の季節を過ごそうかと思っております。

幹事報告

山内一晃幹事

◎特にありません。

会長要件

神山智子会長

皆様こんにちは。季節もあっという間に春という感じになってまいりました。先週は桜の蕾もピンクになってようやくつぼんできたなと思ったら、この2, 3日でぐっと開いて今日はホテルの周りの桜はほぼ満開に近い状態でありました。夕べの暴風で少し散っている桜もありますけれども、まだしばらく桜を楽しめるのではないかなと思っておりました。

皆様、桜の思い出というのは何かございますでしょうか？ 私は以前、タシュというオーストラリアの留学生の女の子を受け入れたことがございまして、その子と私の娘と一般の方々とは弘前城の桜を見ることがありました。私もその時初めて弘前の桜を見て、何と素晴らしい桜だと思って大変感銘を受けて帰ってまいりました。満開の時期ですごい人出でした。弘前城は昨年、曳屋で場所の移動をしたり、今はお堀の水が抜かれて工事をしているようです。弘前の桜は全国でも屈指の有名な桜の名所でございます。この桜を見て心が浮き立つ、何と素晴らしいと思えることは素敵だなと思っておりました。今日は吉田悦子さんも素敵なお召し物で、ここにパッと

親睦委員会報告

大石 源会員

ニコニコBOX

八戸北RC

ポリオ・プラス

石橋十四男会員：結婚記念祝いありがとうございます。50年になりました。

出席報告

本日の出席率	76.31%
前々回(4/4)の修正出席率	81.59%

クラブ戦略委員会

小金平育男会長エレク

クラブ戦略委員会としてどのように進めて行ったらいいのか、内容や進め方を皆さんと協議しながら、今までの資料を参考にして一緒に考えて参りたいと思っております。

前回のクラブ戦略委員会で3枚の資料をお渡ししました。その中の1枚を説明して参りたいと思いま



す。戦略計画立案のワークシートと戦略計画立案ガイドがございます。またこの戦略計画の立案はクラブのビジョンを描き、そのビジョンに向けた目標を設定することから始めるという内容となっております。その次にその目標を達成するために何をするか、年次目標を立てて実行していくということです。戦略計画立案ガイドで考慮しておきたい所はクラブの元リーダー、現リーダー、次期リーダーが中心となるということ。幅広い見解、意見を取り入れるためクラブ全体を反映する多様な代表者が立案に参加すること。出てきた全ての意見を考慮するという事です。クラブの目標には地区目標、RI戦略計画もございます。その中で優先事項として目標に沿ったことをしていくということです。立案に関しては毎年見直しを行うということです。

この内容を見ると一人で決められる内容では到底ございませんし、資料に沿ってやってみたくております。

ワークシートを使って立案するにあたって一つ目、クラブの現状はどうですかという問い掛けがあります。現在のロータリーの長所と短所を出し、次に地域社会の課題、問題点を出します。クラブの現状を評価する際にクラブ・リーダーシップ・プラン（CLP）の資料を参考にして下さいということです。この資料に分析と対策に基づく戦略計画という表があり、クラブのサポートと強化、人道的奉仕の重点化と増加、公共イメージと認知度の向上を考えてみる欄があります。この資料はPETSの時に函館のバスターガバナーが講演された時の資料です。

（資料「戦略計画に基づく分析と対策」の読み上げ）

これは一つの参考ですが、各クラブで分析しこれから3年後、5年後に向けてどのようにするか対策を立てるとするのがこの資料の使い方です。

今日はまずCLPの資料を皆さんに読んで頂きたいと思います。最初の方だけ私から読みます。

（資料「CLPについて」の読み上げ）

このCLPを読むとロータリーが何を求めているかのヒントがあるのかなと感じております。2枚目の図では四大奉仕をCLPが補佐する中で会員増加と維持、成果のある奉仕プロジェクト、ロータリー財団の支援、クラブレベルを超えた指導者の育成の4つの目標を立て、効果的なクラブにしましょうと

いうイメージだと捉えています。

その下にCLPを実施するにあたっては現任、次期、元クラブ指導者は以下を行うものとするとして9つの事が書かれています。これは私達北クラブがこれからどのような方向へ向かっていくべきなのか、またロータリークラブとは何なのかを考える大事なヒントがあると思います。

少し飛ばしてクラブ委員会の項目。クラブ委員会は四大奉仕に基づくクラブの年間目標および長期目標に向けた取り組みを担当しますということで、図が入っております。これも下の方にCLPを活用してクラブ管理運営、クラブ広報、会員増強・退会防止、奉仕プロジェクト、ロータリー財団の5つの項目が支えてまとめ役としてクラブの理事会がありますよという図だなと思います。これが国際ロータリーの求めるイメージなのだと思います。その下には委員会が何をするのか書いてあります。（委員会について資料読み上げ）クラブがこれからビジョンを立ててどう実行していくかのヒントになると思っております。戻ってからこれをじっくり読んで頂ければと思います。

これからどのように進めて行くかについて、まずクラブの現状の把握、長所と短所を出します。次にクラブとして何を目指していくか。3～5年で達成できる目標の立案となります。全体で話し合いビジョンを作り、最終的にクラブ全員からの支持を得て作ります。3つ目にどのように目標を達成するか。ビジョンを作り、ビジョンに向かって優先事項を定めてやっていきます。優先事項と目標を決め、リソース、誰がやるかを決めます。活動した状況を確認するロータリークラブ・セントラルというのがあります。これは進捗状況を活用するツールでMyRotaryから活用できます。4つ目に目標に向けての進捗はどうかということで、戦略計画チームを結成し、このチームが定期的に進捗状況を確認して必要に応じて修正します。3～5年ごとに新しい戦略計画を立て、それを繰り返しながらやっていくということが戦略計画立案ガイドにあります。

今回は皆さんから意見を頂戴したいと思います。現状の把握、クラブの長所、短所を考えてきてください。それからクラブの未来像の意見を聞きたいと思います。この2つを中心に意見を頂きたい、その後どのように目標を達成するか、進捗はどうかなどは別の機会に進めていきます。皆さんの意見を集約して、いかに我がクラブのビジョンを作っていくか、今まで私自身もクラブのビジョンを考えることはなかったように思いますので、これを機にクラブはどうあるべきか、クラブの未来像を皆さんと話し合っていきたいと思います。

点鐘